

# まちの としょかんだより

## “こどもの読書週間” おすすめの本



2016.4月 No.1 (高学年)

読書週間に、どんな本を読もうか迷っている人におすすめ！長く愛され続け、多くの人に読まれてきた「生まれてから約30年以上」の本を紹介します。

	タイトル	作者	発行所	請求記号
1	まじょ たつきゅうびん 魔女の宅急便	角野 栄子／作	福音館書店	91カ
2	ぼうけんしや 冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間	斉藤 あつお 惇夫／作	岩波書店	91サ
3	ツバメ号とアマゾン号	アーサー・ランサム／作	岩波書店	90イ29
4	小さなバイキングビッケ	ルーネル・ヨンソン／作	評論社	94ヨ
5	はてしない物語	ミヒヤエル・エンデ／作	岩波書店	94エ

「ダヤン、  
わちいーるとへ」  
池田 あきこ／作  
ほるぷ出版 (91イ)

ダヤンのお話が本になったのは、  
今から28年ほど前。  
〈わちいーるとへ〉  
に迷いこんでしまった  
ねこのダヤンの冒険  
物語です。



「くまのパティントン」  
マイケル・ポンド／作  
福音館書店 (93ボ)

実写映画化もされた、イギリス  
の有名なくまのおはなし。  
とっても礼儀正しい  
くまのパティントン。  
家を探しに汽車に  
乗ってロンドンに  
やってきたのですが...



「窓ぎわのトットちゃん」  
くろやなぎ てつこ  
黒柳 徹子／作  
講談社 (914ク)

テレビでおなじみ、黒柳徹子さ  
んが、自分の少女時代を描いた  
一冊。個性的で、  
ユーモアにあふれた  
「トットちゃん」と  
あたたかく見守る  
大人たちのお話です。



「ぼくらの七日間戦争」  
そうだ おさむ  
宗田 理／作  
ポプラ社 (91ソ)

右は新しくなった現在の表紙ですが、もともとは  
今から約30年も前に書かれた小説です。人気シ  
リーズとなり、今も大人たちに戦いを挑み続ける  
主人公たちの活躍を読むことができます。

